

JASA国際委員会 活動状況報告

TDIプロダクトソリューション株式会社
国際委員長 廣田 豊

「グローバル化とJASAへの期待」に関するアンケート報告

隔年ごとに実施しておりますグローバル化とJASAへの期待に関するアンケートにつきましてご協力を賜りました事、御礼を申し上げます。

皆様からのアンケート結果を抜粋し報告させていただきますと共に、当アンケートを基にした今後の活動についてご紹介します。

■グローバル化の対象として関心のある地域・国

上位5地域	地域・国	(複数回答有り) 回答割合	前回順位
1	ベトナム	46%	1(→)
2	中国	45%	2(→)
3	北米	31%	8(↑)
4	台湾	30%	3(↓)
5	インド	27%	3(↓)

中国と回答した企業が46%、ベトナムと回答した企業が43%と、前回調査の1位、2位は相変わらず関心を集めている。北米がランキングに入り、前回5位のタイは今回は6位となった。

■グローバル化の変化(地域・国別)

①中国: オフショアが減少傾向にあり、ここ数年で中国から他の地域・国に事業を移した企業が多い。

②ベトナム: 市場としての魅力は減少しているが、オフショア開発としては期待は相変わらず高い。進出していない企業も多く期待は高い。

③インド: 市場として、オフショア開発としての期待が高まっている。

★北米: 市場としての魅力は相変わらず高く、展開の内容は前回から変化は無い。進出している企業が少ない為、絶対数は少ないが円安の影響も出ている。



■グローバル化の課題

- 1 コミュニケーション能力(発信力、計聴力)
- 2 語学力
- 3 異文化理解力

上位3項目共、前回の調査から変化は無く課題として大きく占めている。

■JASAへの期待

海外企業との交流の場の提供支援、グローバル化をテーマとした講演の期待が高い。国の指定は特に無いが、一般的に知られていない国の情報も聞きたいという傾向がある。(ミャンマーの現状やインドの実態等。)また、昨今の人材不足から、人材の確保(外国人採用や登用)についても興味が高まっている。

(予告) JASAグローバルフォーラム2015
開催のご案内

- 日 時: 2015年11月19日(木)13:15~16:50
- 会 場: パシフィコ横浜
- テーマ: グローバルな「人材活用と採用」
- 対象国: 中国、ベトナム、ミャンマー

各国の最新の状況を基に、各国からの人材の採用と活用を例として紹介し、どの国からどのような人材の採用と活用ができるか。その手法を探ります。前回好評を頂いたパネルディスカッションも時間を拡大して実施し、グローバルでの人材採用の課題解決に向けて、皆様の本当に知りたい情報をお伝えします。

基調講演は日本貿易振興機構(JETRO)海外調査部アジア大洋州課課長の池部亮様をお迎えし多様性のアジアとビジネスチャンスについてご講演を頂きます。

講演の後はETフェスタにて後援者との更なる情報交換が可能です。グローバルな人材の採用・活用を検討されている企業の皆様、ぜひこの機会をご利用ください。

※詳細は決まり次第ET2015ホームページに掲載します。

国際委員会 委員会スピーチより ~HIDA紹介~

4月23日の国際委員会にて海外産業人材育成協会よりHIDA事業概要について、委員会スピーチを頂きました。

以下、その内容について簡単にご紹介致します。

HIDA団体概要

- ・1959年設立
- ・事業目的 産業国際化の推進、貿易の振興、投資活動の促進及び国際経済協力に関する事業を行い、もっと我が国と海外諸国の相互の経済発展及び友好関係の増進に寄与する
- ・主な事業 ①研修事業(日本での受け入れ研修、海外に講師を派遣し現地での研修) ②専門家派遣事業(途上国の企業等に日本人専門家を派遣しての技術指導) ③グローバル人材育成インターンシップ派遣事業(日本人の若手社会人による現地でのインターンシップ) ④自主事業

ご存知の方もいらっしゃると思いますが、①研修事業では、海外の技術者を日本の企業で受け入れる事ができます。受入企業は、補助金の交付により渡航費、滞在費等がおおよそ1/3程度の負担で済むというメリットがあります。最大1年間、日本での研修が行え、帰国後には現地での技術移転が必要になりますが、現地の子会社での技術移転も可能ですし、オフショア先の企業の技術力をあげる為に活用している例も多くあるとの事です。

HIDAの支援制度についてご興味を頂けましたでしょうか?今年のグローバルフォーラムにはHIDAの方もお招きし、更に詳しくご説明を致します。皆様のご来場をお待ちしております。